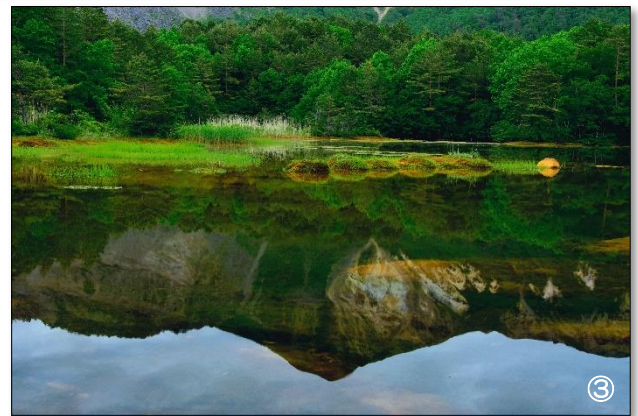


水環境ニュース



第19回猪苗代湖・裏磐梯湖沼フォトコンテスト入賞作品

(主催：猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会)

①最優秀賞「嵐の贈りもの」(猪苗代湖 天神浜)

②優秀賞「生きる」(猪苗代湖 長浜)

③優秀賞「新緑の銅沼」(銅沼)

「水環境ニュース」では、県内各地で取り組まれている水環境活動など、水環境に関する情報を発信しています。

今号の記事内容

○地方流域水循環協議会

- ・「地方流域水循環協議会研修会」を開催しました！

○水との共生プラン

- ・「水との共生」プランを更新しました！

○その他のトピック

- ・企画募集の御案内
- ・「水との共生」出前講座の御案内
- ・全日本中学生水の作文福島県コンクールの御報告

「地方流域水循環協議会研修会」を開催しました！

令和4年1月18日（火）オンラインにて、水環境活動活性化に向けた若者の参画や支援者・後継者の獲得方法などについて研修会を実施し、課題解決に向けた工夫やヒントを学びました。
（参加者：約60名）

■研修会の実施内容

（1）基調講演

「水から見つけるまちの姿と人のつながり」

講師：内閣官房水循環アドバイザー 笹川みちる氏

若い世代の参画や後継者の育成に関して、東京都の事例を参考としながら、関係人口（※）を切り口として、水環境活動の活性化に向けた講話をしていただき、新規参加者の獲得に向けたヒントを得ることができました。



※ 関係人口：移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉です。

（2）会津若松市立湊小学校による活動紹介（ビデオ出演）

学校開校以来20年以上にわたり「水の循環」をテーマとして活動している、猪苗代湖の水質調査や清掃活動などについて、演劇を通して発表していただき、子どもたちの活動を共有することができました。

（3）福島大学ボランティアサークルWILによる若者参画の考え方紹介

水循環をテーマに活動している「WIL」の皆さんから、継続した活動の重要性や中高生の参加促進など、水環境活動への若者参画の動機付けや問題点等について発表していただき、今後の若者参加を考える一助となりました。

（4）水環境団体による取組事例の発表

取組事例発表団体（6団体）

- ・特定非営利活動法人 会津阿賀川流域ネットワーク
- ・特定非営利活動法人 輝く猪苗代湖をつくる県民会議
- ・夏井川流域の会
- ・西郷くらしの会
- ・はげっ子倶楽部
- ・ふるさとの川・荒川づくり協議会

協議会構成団体からの発表の後、講師を交えた意見交換を行い、子どもたちに活動を引継いでいくことの大切さ、自分たちが生き生きと活動する姿を見せていくことの大切さ等を学びました。

「水との共生」プランを更新しました！

「水との共生」プランは、水と人との良好な関係を取り戻し、健全な水循環（※）を未来に継承していくことを目的に、本県の水に関する施策の基本的な考え方を水循環の視点から示す計画として、平成18年7月に策定し、健全な水循環の確保に取り組んできました。

この度、策定以降の社会情勢の変化を踏まえ、頻発化・激甚化する自然災害、東日本大震災及び原子力災害、新型コロナウイルス感染症への対応について新たに掲げ、内容を更新しました。

理 念

水にふれ、水に学び、水とともに生きる
～連携による、流域の健全な水循環の継承～

将 来 像

清らかな水が巡り、多様な生きものを育む緑豊かな水辺に
子どもも大人も遊ぶ源流県・ふくしま

【会津】

奥会津や飯豊、磐梯などの山々から湧き出た水が、くらしの中に息づく山紫水明の流域

【中通り】

甲子高原や八溝山など、いくつもの源流の水が、まちの営みの中で大切に使われ清らかに流れる流域

【浜通り】

阿武隈高地の森から生まれる川にサケやアユが遡上する、森・川・海のつながりが見える流域

3つの柱と8つの大分類

1 水と人とのかかわりの再構築

（1）水とのかかわりを深める

- ・新しい生活様式の下での水環境保全活動への参加の促進
- ・水環境学習の推進
- ・上下流や地域、流域間の連携・交流の促進

（5）水辺を豊かにする

- ・まち中の水辺の確保
- ・地域と連携した清掃活動等のごみ対策の推進
- ・生き物の生息空間や移動経路等の確保

2 流域を単位とした施策の総合的な展開

（2）水を育む

- ・森林や農地の保全・整備の推進
- ・森林の放射性物質の拡散防止
- ・飲料水の放射性物質モニタリング

（6）災害に備える

- ・既存ダムの洪水調節機能強化
- ・流域治水の推進
- ・地域防災力の向上
- ・緊急時の円滑な水融通体制の構築

（3）水を大切に使う

- ・既存施設の計画的な維持管理・更新
- ・水インフラに係る人材育成の推進
- ・節水や雨水・下水処理水等の再利用の促進

（7）水を地域で生かす

- ・水資源の観光等への活用の推進
- ・水のブランド化の促進

（4）水をきれいにする

- ・生活排水や工場排水対策の推進
- ・猪苗代湖流域を始めとする閉鎖性水域の水質保全の推進
- ・水環境にやさしい農業の推進

3 水管理体制の確立

（8）水を担う

- ・流域単位の水管理体制の確立

※健全な水循環：水の流れにおいて、人の活動と環境の保全に果たす水の機能が、適切なバランスの下にともに確保され、人と生き物が水の恩恵を継続的に受けられる状態。

全文はこちらから： <<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/mizu-kyousei-plan.html>>

福島県では、豊かな水循環の保全と健全な水循環の継承に向け、県内の様々な団体から、水環境活動等の企画を募集しています。ホームページから様式をダウンロードして御提出ください。

水環境活動企画提案募集

より地域に即した水環境活動を実施するため、各流域で様々な取組をされている皆様から、県と協力して実施する活動の企画案を募集しております。

水環境活動検討会企画提案募集

各団体における水環境活動の充実を図るため、活動内容の検討から実施までを一連で行う取組を支援します。

水環境活動の充実や活性化を図りたいと考えている団体の皆様から、県の協力により実施する検討会の企画案を募集しております。

「水との共生」出前講座の御案内

県内の川や湖の水環境保全活動などに取り組んでいる皆さんを支援するため、学習したい内容や活動の悩み解決などの要望に応じて、集会や勉強会などに講師を派遣しています。令和4年度も引き続き募集しておりますので、講師の派遣を希望される団体の方は御連絡ください。

【令和3年度派遣事例】

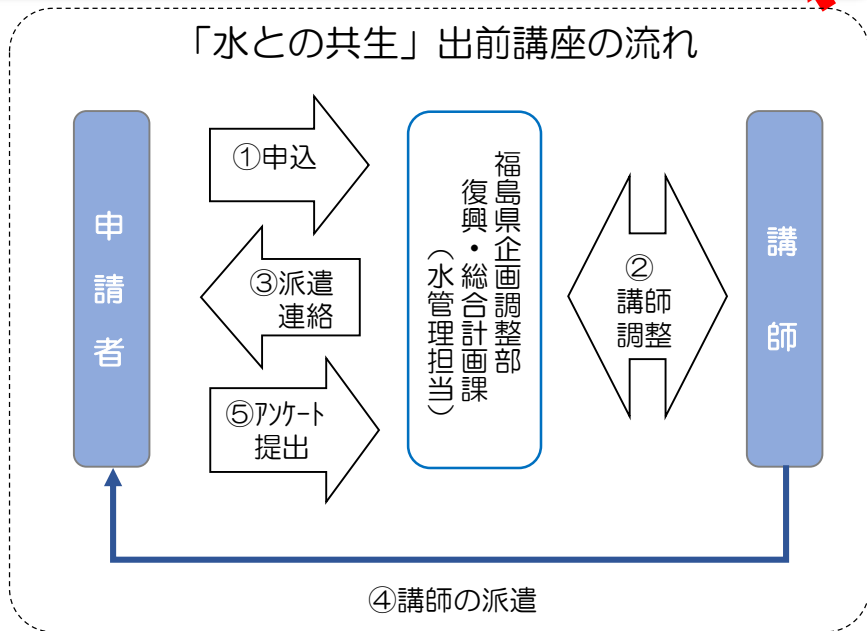


水生生物による水質調査



さくら湖自然観察会

「水との共生」出前講座の流れ



全日本中学生水の作文福島県コンクールの御報告

県では、『次世代を担う中学生を対象とし、水に対する関心を高め、一層の理解を深めることを目的に、8月1日の「水の日」及び、8月1日から8月7日の「水の週間」の行事の一環として、』「全日本中学生水の作文福島県コンクール」を毎年実施しています。

第43回は、入賞作品15編と学校賞4校を選定しました。優秀賞に選定された皆様を御紹介します。

- | | | | | | |
|-------------|----|-----------|-------------|----|----------|
| 矢吹町立矢吹中学校 | 3年 | 青山星空さん、 | いわき市立大野中学校 | 3年 | 大和田陽奈さん |
| 会津若松市立一箕中学校 | 3年 | 佐藤空成さん★1、 | 会津若松市立一箕中学校 | 2年 | 塚田暖菜さん★2 |
| 葛尾村立葛尾中学校 | 3年 | 渡辺さくらさん | | | ※ 50音順 |

★第43回全日本中学生水の作文コンクール受賞 ★1 優秀賞（経済産業大臣賞）、★2 入選

